

私(hiroshi)にとっての転機と挑戦 (1/3)

- 1985年 九州大研究室で PC8801 と TK85 に出会う(ハードウェア)。
- 1986年 ラグビー部OB(東芝) F氏 との出会い。 **下駄を預ける**
 - 1987年 東芝 入社。 BISDN by NTT 対応の新規事業の研究開発
- 1990-1992年 米国 New Jersey州 Bellcore社 研究員
 - Information Super Highway プロジェクト(The Gigabit Testbed Initiative, AURORA Project) with MIT, IBM, U-Penn.
 - Room mate が Paul Francis (IPng=IPv6 中心人物)
 - MIT David Tennenhouse 博士が Bellcoreに來た時の行動。。。衝撃だったなあ。
 - 「ATMスイッチを Internet の スイッチ/ルーターに使おう」 だった。
- 1992年-1994年
 - 帰国後に WIDEプロジェクトの参加(村井純との遭遇、、 don't trust over 40)。
 - WIDE教 に参画
 - しかし、会社は BISDN/ATM だったし、、 AURORA@BellcoreもATMだったので、、 Cell Switch Routerのアイデアを思い付いた。

私(hiroshi)にとっての転機と挑戦 (2/3)

- 1994-1996年 米国 New York市 Columbia大学 客員研究員
 - IETF, ATM Forumでの標準化活動が **本当の目的**。
{会社としては、全社の研究調査 という名目}
 - 1996年3月のIETF会合で、Ipsilon社 が IP Switch ATM 1600 を発表
 - Bob Hindenが中心人物。。。前職は Sun Microsoft社(東芝の共同研究先!!??)
 - 村井純から、『やられたなあ』 と YAMAHA? PANA? の Los Angelsでのパーティーの後の移動のタクシーの中で。
- 1996年に帰国 ・ ・ ・ MPLS
 - R&Dセンターの上司に交渉。 **実装チームを立ち上げ**(神明君、永見君など)
 - 事業化への挑戦も決定。 CSR(Cell Switch Router)と命名。
 - **MIT David Clarke、U.Penn Dave Farber**との対話が、背中を押してくれた。
 - **WIDEインターネットに CSRを導入**
 - MPLS として Cisco Systemとの連携開始(**Yakov Rekhter**など。。。)
 - 対 Ipsilon(w/NEC)
 - Bostonに ベンチャー起業(Ennovate Networks in 1997)

私(hiroshi)にとっての転機と挑戦 (3/3)

- 1997年 東京大学 で **学位取得**(論文博士)
- 1998年 東京大学 大型計算機センター 助教授
 - 同僚に、加藤朗(当時 助手)・・・肩書 逆転。。
 - 当初は、2年で 東芝に 帰還の 約束だった。。。 **“口”約束**は、、、、
- MPLSの次は、IPv6 ということに。 **By 村井純**
 - KAME/USAGI
 - TAHI
- IPv6の出口としての IoT
 - Live E! プロジェクト・・・・ **Whether News 石橋社長** との 約束。
 - **松下電工 野村淳二氏**(日本の電源ソケットの6～7割を占拠)との 出会い(後に **中国 高電圧直流送電** で関係)
 - スマートビル のきっかけは、SONY品川本社ビル(2004年着工)に関して、 **キー** **ルネットワークス 櫻井智明氏**からの相談。
 - GUTP(当初は 「東大グリーン工学部2号館」)を創設。
 - 共通する **ビジネスの梃子** として、 **「電力エネルギー」** を柱に設定。

ということで、、、

「{hiroshiが勝手におもしろい}人との出会い」

(*)ある閾値の量を越えると、、、like LLM

➔ ① 発明は必要の母 (Prof. Melvin Kranzberg)

② イノベーションは模倣・マネ
から生まれる (早稲田大 井上教授)

ですかね。